|  |  |
| --- | --- |
| **諏訪小だより** | 令和４年３月１４日３月号 　多摩市立諏訪小学校 　校長　齋藤　幸之介 |

**御礼申し上げます－１年間を振り返りながら**

**校長　齋藤幸之介**

２月までの気温は低く、本校の昇降口前にある観察池の氷はすぐには割れない厚さでした。しかし、今ではすっかりと気温が上がり、昼間は汗ばむこともあるほどです。校長室から見える朝日の昇る時刻は少しずつ早くなり先日の報道番組では、日の出が午前６時より前になった、と伝えられました。

少し早くはありますが、本年度も修了式、そして卒業式を迎えることができます。これも一重に、保護者及び御家族の皆様、そして地域の方々の御理解と御協力のおかげ、と深く感謝をいたします。

振り返れば、色々とあった、と１年という月日の重さを改めて感じます。

**少しずつ取り戻したこと**

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた状況から始まりました。しかし、入学式・始業式から始まった令和３年度は、それからしばらくは少しずつ今までの教育活動を取り戻し始めたかとも思われました。１・２年生の交通教室は市立交通公園で行われました。真剣に自転車の乗り方を学び、また園内でお弁当を食べたこともさることながら、バスに乗って移動することに子供たちがとても喜んでいた姿が印象的でした。多様な教育活動が子供たちを満足させ、そして豊かにすることを改めて感じました。それから、近隣地域を中心とした見学を始めとする活動が行われるようになりました。

６年生「諏訪っこ市場」は、圧巻でした。一朝一夕にはできない栽培、特に野菜を確実に収穫しなければならない、という「使命」は、子供たちに少なからずプレッシャーを与えたことと思います。また、並行して準備をした野菜作り、さらにはこれを発展させた環境についての発表の準備を行う苦労も想像に難くないところでした。７月の暑い中行われた販売と発表は、本校ならではの充実した行事、と感激をいたしました。該当学年の保護者の方々には多数御参加をいただきました。「支えられている」と実感しました。

その後、運動会を始めとするいくつかの行事は、一部内容を変更しながらも行うことができました。異学年交流活動「たてわり班活動」は、それこそ人流に気を付けながら、一層充実した内容になるように、実施時刻及び活動時間を変更することも試みました。昨年度生じてしまったブランクを埋めるべく活躍をした子供たちの姿と共に、一層効果的な活動を保障すべく工夫を重ねた教職員の姿があったことをこの機会に御紹介をいたします。

**十分な実施が叶わなかったこと**

一方で、中止、あるいは活動内容を変更せざるを得ない場合もありました。

当初見学も予定されていたオリンピック・パラリンピックについては、実地踏査までは行われました。本校の代表として私が参加をいたしましたが、大会前に新国立競技場でデモンストレーションを行うアスリートを観ながら、子供たちの感動する姿を想像しておりました。しかし、アクセス等の難しさも同時に予想され、叶わなかったことも致し方ないところでした。

６年生の移動教室については、１泊２日と日程を短縮して行いました。保護者の皆様には御不満があったことを申し訳なく思っていますが、それでもこの時間を愛しむかのように過ごした６年生の姿に救われました。同時に、子供たちの気持ちを十分に分かりながらも、状況を深く分析し、そして安全を第一に考えた教職員の苦しみも僭越ながらお伝えをいたします。

学習発表会も実際に参観をしていただくことは叶いませんでした。動画配信という形については、色々と御意見を頂戴しているところですが、一方で、多くの励ましをいただきましたことに教職員一同有難く思っています。次に踏み出すことができそうです。

　最後に、繰り返しにもなりますが、本年度皆様には、感染症対策を中心に多大なる御理解と御協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。これからもまだまだ続くコロナ禍での学校生活を少しでも充実すべく私共は努力をしてまいりますので、お願い事も厳しくまた多くなるかとも思いますが、改めてお力添えを賜りたく深くお願いをする次第です。

　裏面には、本月に実施した保護者会でお伝えをした私の話の概要を掲載しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

　子供たちは今、次の学年・学校を思い描きながら最後のまとめをしております。無事に本学年を終了し、新たな段階に進むべく、確実にまとめを行っていきたいと思います。